

OFFICIAL SELECTION CANNES 1996



LUCILE HADZIALILOVIC



GASPAR NOE

MIMI  
52  
minutes



SANDRA SAMMARTINO



MICHEL TRILLOT



DENISE SCHROFFER



LES CINEMAS DE LA ZONE.



DOMINIQUE COLIN



WILLIAM ABELLO



FABIEN KRYZANOWSKI  
OLIVIER DO HUU

LA BOUCHE DE  
JEAN-PIERRE

35mm CINEMASCOPE



LE CINEMA AIME *agnès b.*

パリの裏側におびえる12歳の少女ミミ。

# MIMI

1996年カンヌ国際映画祭“ある視点”正式出品作品/1996年/フランス/シネマスコープ/52分/カラー/配給:エース ピクチャーズ/LES CINEMAS DE LA ZONE PRESENT/〇〇

## 大人たちの森で道に迷った少女=黄色すきんちゃんの現代のおとぎ話。



馬の肉を売る父親と口をきかない少女の道行きを物語る衝撃のビザール・シネマ『カルネ』。いまだに鮮烈なこの作品は、日本でも大ヒット・ロングランを記録し、世紀末に近づくにつれ、より一層人気を呼んでいる。

この監督ギヤスパー・ノエがプロデュースと撮影監督を担当し、彼の公私にわたるパートナー、ルシール・アザリロヴィックの監督デビュー作がこの『ミミ』だ。

不気味な血の赤をイメージした『カルネ』とは対照的に、今回は“黄色”を基調とした映像が作り出される。黄色に象徴される、黄ばんだパリの裏側の奇妙な日常を52分に集約した。

「子供の頃から秘められていた恐れや不安を描き出したかった」という彼女のテーマから、緊迫した長回しを随所に使い、気の滅いるような“しつこさ”が異常な後味を残す。

また、グリム童話より100年も前に書かれたシャルル・ペロー童話集の中から、唯一不幸な結末を持つ「赤ずきんちゃん」をモチーフにし、無垢なる処女のおびえを映し出した。



パリ郊外。シャッターの下りにいる商店街、閉まったままのたばこ屋、おぼろに光る街灯。窒息しそうな閉鎖性行為に耽る大人、不吉な三面記事、横行する幼児虐待・殺人…すべてを52分に凝縮された少女ミミの苦悶。

さまよえる少女ミミは、夢とも悪夢ともつかない、閉鎖的なパリの裏側に迷い込み、大人たちの世界を覗き、おぞましい体験を強いられる。そこは少女にとって牢獄のような黄ばんだパリだった…。

「おばあちゃんの口はなぜそんなに大きいの？」  
「それはお前を食べるためさ」と言って、  
悪い狼は赤ずきんちゃんをむしゃむしゃ食べてしまいましたとさ。

(シャルル・ペローの“教訓”童話集 1697年より)

シャルル・ペローによるこの教訓童話は、その100年後に書かれたグリム童話(1812年)とは違い、通り掛かりの猟師さんは登場せず、赤ずきんちゃんは助からない。



「長靴をはいた猫」河出文庫刊  
シャルル・ペロー著 濫澤龍彦 訳  
所収「赤頭巾ちゃん」より  
挿絵 片山健

## パリの裏側におびえる12歳の少女ミミ

わたしはミミ。  
おかあさんは、わたしの目の前で薬をいっぱい飲んだ。真っ白い病院にいる。ソランジュおばさんに連れられ、団地に行った。  
狭い部屋。わたしのペットは物置の中。

夜、目を覚ますと、知らないおじさんがおばさんをいじめていた。  
ジャン=ビエールだ。

つまらない毎日、息苦しい団地、気持ち悪いおじさん…  
ジャン=ビエールがわたしを触る。

いろんな色のきれいな薬・・・おかあさんのところへ行けるかしら？

アニメスb. 人気ファッション・デザイナー  
が製作協力として資金提供。

—— ゴダール以来の出来事！ ——

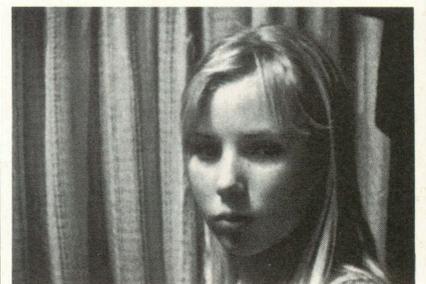


「彼女は狼を見た」

時間が止まってしまったような、不吉な影があるパリ。

どこか居心地の悪い団地に監禁されたような少女ミミ。

彼女の悪夢が消え、安らぎが訪れるのはいつなのだろうか。



世界初！ コミックノヴェル『ミミ』+『カルネ』  
奥田鉄人 (OKUDA ROBOT) 著 青山出版社刊

ブラック、ヴァイオレット、スタイリッシュ！  
“フランスの今”に鋭くメスを入れやがった。『ミミ』に比べたら、俺の「ドーベルマン」は、のどかなティズニーランドの午後さ。

ヤン・クーネン(「ドーベルマン」監督)

本当に美しい映画だ。「カルネ」と同じエスプリを持っているが、大きく異なるのは、“少女”に代表される女性の映画だという点だ。

マチュー・カソヴィッツ(「アサシンス」 「憎しみ」監督)

詩的な映画。個性的であり、感性豊かな傑作だ。濃やかな演出を注意深く見てほしい。ルシール・アザリロヴィックという才能のある女性は、今まさに注目すべき監督としての第一歩を踏み出したと言える。

ジャン=ユグ・アングラード(俳優)

「ミミ」&「ドレス」  
ロードショー

各国完全入れ替え制

11/28(土)~12/4(金)

「ミミ」	11:45	2:50	5:55	9:00
「ドレス」	12:50	3:55	7:00	

モーニングショー  
レイトショー

12/5(土)~12/18(金)

「ミミ」	11:20AM
「ドレス」	8:20PM

前売券=1400円(当日一般=1700円 当日学生=1400円)  
※「ミミ」・「ドレス」の前売券は別々で販売しています。

ホワイトイ梅田の泉の広場M-10右上がる東へ5分

扇町ミュージアムスクエア  
06-361-0088

